



京都府立南山城支援学校

令和4年度 N06.〈最終号〉

南山城相談支援センターニュース

〒619-0231 京都府相楽郡精華町山田医王寺 | TEL : 0774-72-7255

センター長 あいさつ

一年間、様々な園、学校等に相談支援、研修支援等でお世話になり、ありがとうございました。今年度、初めて南山城相談支援センターのセンター長を務めさせていただく中で感じたことが二つあります。

一つ目は、相談支援センターのことをさらに多くの人に知ってほしいということです。地域の園や学校には、学習面や生活面で困っている児童生徒、教員、保護者がたくさんいると思われます。しかし、困った時に相談すればよいのかわからずに、相談しないというケースが数多くあるように思われます。一人の教員や保護者だけで、子どもを育てるのではなく、客観的、かつ専門的な視点で子どもの特性をとらえ、個に応じた適切な支援をすることが子どもの成長に望ましいと思います。

二つ目は、各機関の連携の重要性です。相談支援活動を通して、当センターがどれだけ多くの機関に支えていただいているかを再認識しました。適切な支援を行うために各機関が連携することで、より良い支援体制が構築できたと思います。

今年度も南山城相談支援センターには、たくさんの相談支援の依頼がありました。とりわけ、特別支援学級を対象とした支援では、継続的に相談支援を行うことで、一人一人の児童生徒に適した支援について共に考え、日々の教育活動に活かすことができました。今後もお困りのことがございましたら、当センターにご相談ください。

南山城相談支援センター長 三重野 崇



★活動報告～相楽地域特別支援連携協議会について～★

地域の特別支援教育を推進していくために、南山城支援学校を事務局として、『相楽地域特別支援連携協議会』を年間2回行っています。協議会では教育、福祉、行政、医療、労働等の関係者が集まり、情報交換を行ったり、協議を行ったりします。

今年度は「就学前から就学時期の支援」をテーマに、8月と2月に実施をしました。協議会では、就学前機関の取組について御発表いただいたり、就学前から就学時期への移行をテーマに協議を行ったりしました。

また、1年間の協議会の活動等を年次報告書にまとめて、各教育事務所や福祉施設等に配付を行っています。

様々な機関が連携して、地域の特別支援教育をより一層推進していくために、次年度以降も継続して連携協議会を実施していきます。



今年度の活動報告

<研修支援>

1月末までの時点で、12件の研修を行いました。今年度は、事例検討や授業方法の検討等、具体的な指導や授業につながる研修の依頼が多くありました。

夏の研修会は井手やまぶき支援学校と共催で行い、保・幼稚園から高等学校の先生まで幅広い校種や職種の先生方に御参加いただき、合計87人に研修を受けていただくことができました。

<相談支援>

1月末までに延べ348件の相談がありました。

今年度は井手やまぶき支援学校が開校し、本校の校区が昨年度に比べて狭くなりました。このことから1つのケースに複数回関わることができ

るようになり、「継続」の相談が多くなったことが特徴的でした。相談内容としては、児童生徒の「行動」に関する相談が多く、相談の内訳の44%を占めました。

専門家と連携した相談を年間を通して行いました。PT(理学療法士)、OT(作業療法士)、ST(言語聴覚士)、大学教員、医師等と連携して、様々な相談に対応しました。

今年度は、特別支援学級を対象とした相談業務を重点目標として取り組みました。複数の学校を対象に月に1回程度の継続的な相談を行い、授業検討、教材作成、特別支援学校の見学会等を実施しました。

1年間、御協力いただきありがとうございました。

